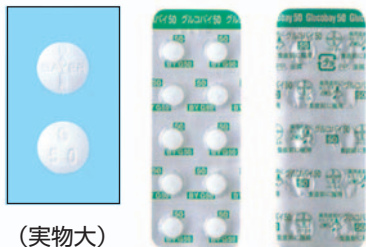


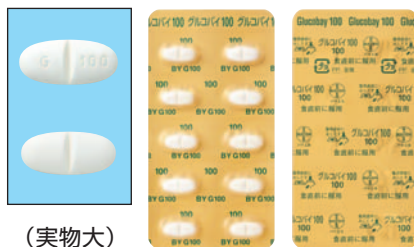
グルコバイ錠を服用される方へ

グルコバイ錠50mg



(実物大)

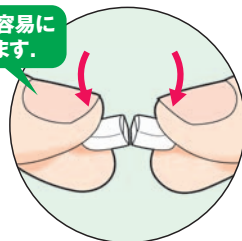
グルコバイ錠100mg



(実物大)

**食後の急激な血糖の上昇を改善する
糖尿病の薬が処方されています。
以下の点についてご注意ください。**

少しのチカラで容易に
割ることができます。



1.薬の服用時間について

1) この薬は**食事の直前**にお飲みください。

ごはんやパンなどの食べ物と混ざりあって効くお薬ですので、食事の直前にお飲みください。

2) もし、食事の直前に飲み忘れたときには**食事中**にお飲みください。

3) 食後の服用では、効果が弱くなります。

2.低血糖について(この注意は必ず家族やまわりの方にも知らせておいてください)

低血糖とは

1) 血液中の糖分が少なくなりすぎた状態で、急に異常な空腹感や、冷や汗、動悸、手足のふるえ、目のちらつき、頭痛が起こったり、ぼんやりしたり、ふらついたり、いつもと人柄の違ったような異常な行動をとることもあります。

2) 空腹時に起こりやすく食べ物をとると急に良くなるのが特徴です。

3) 低血糖は危険な状態ですから、もし起こったら軽いうちに治してしまわなければなりません。軽いうちはブドウ糖をとると治ります。



冷や汗、動悸



手足のふるえ

(必ず裏面もお読みください)

1)この薬を服用しているときに低血糖が起こったら

- 必ずブドウ糖をとってください。この薬は砂糖などの二糖類の吸収を遅らせます。ほかの糖尿病の薬で起こった低血糖には効果のある**砂糖やあめ玉はこの薬をお飲みの時には、不十分です。**
- いつもブドウ糖を携帯してください。低血糖になっても、軽いうちはブドウ糖をとると治ります。日頃からブドウ糖を持ち歩き、表の面に書かれている低血糖症状があらわれたときは、すぐその場で**5～10gのブドウ糖**をとってください。携帯用ブドウ糖については、主治医もしくは薬局にご相談ください。
- 低血糖が起こったら、早めに主治医に報告してください。

2)低血糖を起こさないために

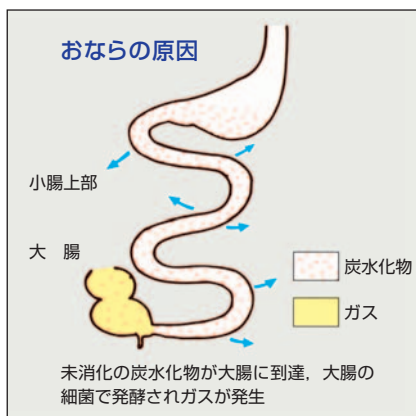
- 薬の飲み方は主治医の指導を正しく守ってください。
- 食事量を減らしたり、抜いたりしないよう食事療法はきちんと守ることが大切です。
- お酒の飲み過ぎ、激しい運動などは低血糖を起こしやすくしますので主治医の指導を正しく守ってください。

3)高所作業や自動車の運転等危険を伴う機械を操作している時に、低血糖を起こすと事故につながります。特に注意してください。

3.おなかが張ったり、おならの回数がふえることがあります。

この薬を飲みはじめたときには、おなかが張ったり、おならの回数がふえることなどがあります。

1, 2ヵ月飲み続けるうちに、このような不快な症状は減少してくることが多いのですが、症状が強い、腹痛を伴うなど特に気になる場合は主治医にご相談ください。



4.肝臓の機能が悪くなることがありますので、次の症状があらわれましたら必ず主治医にご相談ください。

- 体のだるさ、食欲がない、吐き気、皮膚や白目が黄色くなる、褐色尿、かゆみ、発疹、発熱

5.その他、不快な症状が気になる場合は主治医にご相談ください。